

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度								
事務事業名	働く女性の家運営事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	なし	
			05	01	02	04	政策経費		
総合計画体系	第4章 活力ある産業を育てるまちづくり						総合計画対象	対象	
	第3節 商工業の振興						市民協働	行政主体	
	[1] 商工業						担当課係等	市民課中央出張所	
5 就労環境の整備						管理担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 働く女性及び勤労者家庭の主婦の職業生活等に必要の援助と福祉の増進に寄与する。	【関連事業】 あじさい館管理事業	
【期待される効果】 市民の健康維持等の福祉の増進	【対象者】 全市民	
【全体概要】 市民の体力及び健康の増進を図ることを目的に、トレーニング器具を有効利用するための「トレーニング室利用講習会」を開催する。	【特記事項】 受講者20名の講習会を年4回開催	
【平成26年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催	【平成27年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催	【平成28年度 事業内容】 トレーニング室利用講習会の開催

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	28	28	28					
	歳入計（千円）	28	28	28					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	28	28	28					
歳出計（千円）（A）	28	28	28						
（参考）	当初予算額	81	当初予算額	28	伸び率(%)	決	0.00	予	0.00
職員人工数	0.25	0.25	0.30						
職員人件費（B）	1,958	1,923	2,413						
総事業費（A）＋（B）	1,986	1,951	2,441						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	トレーニング室利用講習会の開催	回	目標	4.00	4.00	4.00
	トレーニング室利用講習会の開催回数		実績	4.00	4.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	トレーニング室利用講習会への参加割合	%	目標	90.00	90.00	90.00
	トレーニング室利用講習会への参加割合（参加者数/定員）		実績	85.00	97.50	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 勤労者の支援や福利厚生への推進につながる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の健康維持等の福祉の増進につながるため。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 講習会参加予定人数が不明である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 講習会を受講しないと利用ができないので、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 市民の健康維持、体力の増強につながるため妥当である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 同等の資格を持った市民へ、無償或いは低額で協力を依頼する。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 希望者は、誰でも参加できる。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	講習会は、継続して開催する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：久保庭 則夫
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 現行の取組みの推進		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 一良
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業を継続する。		